※令和４年度以降入学生用

学校番号	3001

令和５年度　環境緑化科

教科	農業	科目	造園植栽	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書							
副教材等	造園施工必携　（日本造園組合連合会） 葉っぱで見分け五感で感じる樹木図鑑（ナツメ社）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

本科目の目標は人々の生活環境を安全で緑豊かな空間として提供することです。時代とともに、植栽工事・管理の方法は変化し、それに伴って使用される道具や材料も変化しており、環境に配慮した新しい資材の開発も進んでいます。実際に授業で体験し、造園植栽に関する知識・技能を身に付けましょう。

２　学習の到達目標

造園植栽における、植物の育成や緑地管理に使用する材料・道具について適切な知識と技能を習得し、都市緑化や環境の保全など環境緑化の特性を理解するとともに、材料を美的かつ機能的で安全に取り扱い活用する能力と態度を養う。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技術	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	体験的な学習を通して、多種多様な材料の特性や性質を理解し、適切に材料や道具を選択し活用する技能を習得している。	習得した知識をもとに、施工する地域や環境に適した材料や環境の保全に配慮した施工・管理方法を考え、実践している。 安全に気を付けて効率的に作業に取り組んでいる。	環境緑化の現状や今日的な環境保全に関する課題などについて関心を持って取り組んでいる。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1	造園樹木	樹木の分類 樹形 寸法規格	a:樹木の植物学上の分類と実用上の分類について理解している。 b:樹木を性質や樹形により分類し、用途に応じて適切な樹種を選択できる。 c:多種多様な造園樹木に興味・関心を持っている。	定期考査 ノート	定期考査 実習成果 ノート レポート	学習状況 自己評価
	植栽工	土壌 配植の方法	a:土の構造と性質や土壌改良の方法を理解している。 b:植栽地の土壌環境を見て、土壌改良の方法や生育に適した配植を考えることができる。 b:施工計画や同線、景観との調和を考慮し配植を考えることができる。 c:植物によって好む生育環境の違いや土壌環境の調査に関心がある。			
2	植栽工	移殖 仕立て 剪定	a:掘り取りから植え付けまでの作業手順や移植の適期を理解している。 a:樹木の仕立ての目的や剪定の種類と方法について理解している。 b:植え付け後に活着するため、樹木の葉や根の状態を観察し、適切な作業を施すことができる。 b:仕立ての目的により、切除すべき枝を見分け剪定できる。 c:移植や剪定について関心を持ち意欲的に取り組んでいる。	定期考査 ノート	定期考査 実習成果 ノート レポート	学習状況 自己評価
3	繁殖	栄養繁殖	a:栄養繁殖の特徴や方法を理解し、実践できる。 b:樹種や枝葉の状態を観察し、効率よく発根し活着するための適切な作業を施すことができる。 c:栄養繁殖に関心を持ち意欲的に取り組んでいる。	定期考査 ノート	定期考査 実習成果 ノート レポート	学習状況 自己評価
	管理	施肥 病害虫	a:肥料の種類や施肥の適期を理解し、適切な施肥を実践できる。また、樹木の病害虫の原因や症状を理解している。 b:樹種や生育状況から判断し、適切な種類や時期・量を考え施肥できる。また、樹木の病害の状態を観察し適切に原因を判断し、対処法を考えることができる。 c:施肥や病害虫について関心を持ち意欲的に取り組んでいる。			

※　表中の観点について　a:知識・技術　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度